

# いしざきレポート

2005年10月



中越地震から1年

どう変わる郵便局

公明党

市議会議員 いしざき ゆきお

自宅：船橋市松ヶ丘5 - 46 - 4

電話 469 - 7966

市役所控え室：電話 436 - 3032

ホームページ：<http://www.y-ishizaki.net/>

## どう変わる郵便局 2007年10月民営化

今月14日に郵政民営化が成立したことで、日本郵政公社は2007年10月から株式会社に衣替えすることになりました。国民に身近な郵便局のサービスはどう変わるのか。  
**民営化のイメージ**

### 郵便

- ・手紙、はがきなどは全国一律サービス継続
- ・小包は他社との競争激化で値下げも
- ・点字郵便物などの無料、割引制度は維持

### 窓口サービス

- ・文房具や日用品、旅行や映画のチケットの販売など「コンビニ化」も
- ・住民票の写しや印鑑証明など証明書交付の代行も

### 貯金・保険

- ・郵便貯金と簡易保険の上限（1千万円）は当分維持
- ・新規の郵貯、簡保の政府保証はなくなるが、民間金融機関と同じく預金保険機構などで保護

## 中越地震から1年

### 避難所生活「風呂」「トイレ」に不満

死者五十一人、負傷者約4800人を出した新潟県中越地震から、二十三日で発生から丸一年が経ちました。

被災地では、崩れた住宅の再建が遅れ、約2800世帯約9200人が仮設住宅での避難生活を続けています。

このたび内閣府は、最大震度7の川口町、同6強の小千谷市の住民1000人を対象にアンケート調査を実施、発表しました。避難所生活では「風呂」「トイレ」に不満が集中しました。「風呂」の問題は、半数以上の人が不満。不便と答え、「トイレが心配で水を飲むのを控えた」との回答もあったようです。

生活環境の最も基本の問題が大きく不満として出てきました。分かりきったところではありますが、支援の手が伸びないようです。生活者の声が聞こえる距離に行政が身を置くことは、現場主義の第一歩と考えます。